

網文書
86

郵便

報知新聞

第卅三號

明治六年三月

新貨三錢

澤田家檢

東京横山町三丁目

太田金右衛門



九例

遠近の人民互に性懐く相通ト事理くお達する新聞紙の妙を
故に西洋諸國苟も文のな名ある地まで其の新聞紙局に設
あつて國內國外を論ずる九百の事務を網羅し保て奇事異聞瑣
語常談を采用して日刊月刊の新聞紙を傳布するに幾んど家
喻戸曉小説の概あれ國人甚だあれを便するを今爰に郵便
此新聞紙を刊行するも遠近の子弟我れ大いに内おれ情を通し
古今は變を知らぬ世に裨益あるべし我れ欲するあり蓋し報水の
氷成見て天下は寒を知るべし此の冊子を思ふもの亦當今を懷の
一斑と窺ふべし

郵便報知新聞第四十三號 明治六年第三月

○三子出産ノ者其家困窮ニシテ滋養行届兼ハ向ハ以
來養育料トシテ一時金五円給與致シ小間地方官ニ於
テ速ニ施行致シ追テ受取方大蔵省へ可申出ハ事
右関拓府縣へ御布令アリ

○皇太后宮 皇后宮 御黛 御欽漿被廢ハ旨被
仰出ハ事右宮内省ヨリ御布達アリ

○戊辰己巳兩歲 官軍隨行戰死ノ者各府縣ニ於テ墳
墓或ハ招魂場取設コレアル向ハ其人姓名籍貫戰死ノ

年月墳墓ノ箇所招魂場ノ廣狹創立ノ時日及ビ共祭祀ノ方法等附ノ金穀買數等詳細取調來ル四月卅日迄ニ可差出青山縣陸軍大輔殿ヨリ御達アリ

○白川縣より報知

同縣下玉名郡江田村の農池田佐十郎等多分當一月一日午時中同村清原といへる所より所持の畑を掘り宝銭得るに夢を見たり依て直ちに起立て右乃場所を掘り試みふ一ツの石室ありて其内より武器又金銀類數品と探り得たるふ付其由が縣廳へ訴へ見分を當時古品の取計方司法省へ伺相成り電燈

○大坂府より報知管下布令

往來の者怪我病氣飢渴等ふて相煩ハハ・医師へ見せ能ハハ抱致遣まべ一若一歩行も不相叶時を其者の在所承り村送りしと送り届る款又ハ迎と呼寄るり無疎畧可取扱音兼て郡中制法にて示置ハ全く當府管下の者同志相互の取扱不有之處近頃他の管下乃者當管下は於て前頭の容體は立至りハ節其村方より直に送状と添へ村継を以て送届けハ向ハ有之趣向後他管下の者ハて前頭の容體は立至りハ節を村方より於て懇みハ抱を加へ其上村送をも不致てハ不叶向を當府廳

へ申出差圖可相受事

○上海來信云く現今天津府の造兵局にてハ銃器製造せるものと日夜停まずは何れ故なるか知れず或る説は西北の甘肅省烏魯木齊の地方人民蜂起一勢ひ甚ど猖獗るれば不日ハ政府より帥を出ての備まるべしと云ふ亦天津を近來稍寒し河中凍て氷を為し是が為ハ船舶も流通せざ由なり

○群馬縣より報知ハ管下八十八才以上九十五人百才以上二人右の者へ祝壽金を賜りたり

○筑摩縣より報知

同縣下中山道塩尻駅元職多るる者囚獄場番人相勤ける其内高橋與太郎と云へる者勤功は依り今般等外出仕は被命より昨春民籍へ編入なり上る孫くんとども虽も尚回弊を意存する人なる耳新敷聞ゆべし古昔より人民と異ふ輕蔑せられしも今日平民の上は坐し官給と賜るハ全く彼が精勤よりなりや斯る雅有御政體よりいふべし如何程苦心するも不及事なり實に朝恩無量なる事独り與太郎の如き非ざる全國彼ハ同黨の幸なり可奉報期をなすべし

○此頃開拓使お於て菓木良種を海外より購ひ得て第

一號官園を開き、其品種、梨、林檎、葡萄、其他、桃、杏の類、あれども、凡そ一物、あつて、五、七、十種の、異品あり、又、夏、秋、冬、の、三季、は、其、実、は、結、べる、も、あ、は、よ、り、る、り

○四十一號ニ記載セシ米國新聞ノ一節

近來布蛙國人口甚だ減少シテ國威漸ク陵夷セリ先年人口検査ノ時ハ大數六万員ナリレガ當今恐クハ五万員ニ至ラス且定律立君ノ政体ヲ施行シ王家ヲ支持スル費用ハ歲入ノ金額ニテハ不且多クレバ年々此不足ノ金額ハ唯國債ヲ益ノミニテ更ニ返済ノ目的ナケレバ實ニ憂國君子ノ慷慨思ヒ遣ルヘシ僅ニ五万員ノ人

民ヲ擁護シ一政府ヲ支持スル金額毎年大凡五十万ドルラルニ下ラス此費ノ一部ハ唯王家ノ私用ニ屬スル無益ノ華飾ニ費スル多シ去レ共人民ノ國政ヲ歎クハ唯此等ニ関ルノミニテ外ニ苛酷ヲ告訴スルナキハ全ク是迄國政ノ善ク行ハレ人民家産等ノ擁護行届キ公平ナル官吏モ許多ナルヲ以テナリ

○長野縣下齋藤某より報知

同縣下より行程一里と隔て丹波島駅に至る途は犀川と云大荒河あり四時暴洪一往來を止め行人と一と困苦せしむ茲は有志が集ひ船橋を架ん事以縣廳を乞

以舟五十艘伐浮べど既_レ落_レ成_ルセリ

○函館より報知

北海道御用達佐野専左工門所持の宝丸船一艘此程津
輕_レ迎_ルより米穀其他諸荷物積込当_レ港へ入津せーが去
月廿日夜十一時頃自火_レみ_レて焼_レ没_{セリ}尤_レ破_レ泊_レ船々ハ轉
火_レ乃_レ逃_レ免_ルと_レり

○敦賀縣下越前國大野郡の頑民共説教乃_レ趣意_ヲ誤_レ解_ス
一_レ疑惑を生ぜ_レ一_レ奸僧等煽動_{シテ}終_ニ一_レ探_レの騷擾を
起_シ説_得の官員へ手向_ヒるせ_レ一_レ依_リ當_レ七日右_ニ爲_レ鎮
撫_ニ參_ニ事_ニ其_レ外_ニ速_ニ出_ニ發_ニの由_ニ大藏省へ御届_ニ相_ニ成_ニと_レり

○印播縣下農推名浩作鈴木太郎右工門の論説

當_レ今_レ四方の人民次第_ニ日_ニ新_ニの化_ニと_レ向_ニふと_レ虽_モ愚_ノ夫_ノの
蒙_レ昧_ニい_ニは_ニど_ニ開_ニけ_ニざる_ニ所_ニあ_ニは_ニる_ニ皆_ニ積_ニ年_ニの_ニ弊_ニ習_ニを_ニバ_ニな
リ_ニ先_ニづ_ニ第一_ニは_ニ大師_ニ詰_ニとい_ニへ_ニる_ニ事_ニあり_ニと_ニ三_ニ四_ニ月_ニの間_ニ村
落_ニ黨_ニ々_ニ結_ニび_ニ類_ニを_ニ集_ニめ_ニて_ニ老_ニ若_ニ男_ニ女_ニ打_ニ混_ニト_ニ旗_ニ印_ニを_ニ押_ニ立_ニる_ニ
が_ニと_ニ高_ニ声_ニふ_ニ遍_ニ照_ニ金_ニ剛_ニの_ニ四_ニ字_ニと_ニ唱_ニへ_ニ宿_ニ村_ニの_ニ差_ニ別_ニる_ニく_ニ至_ニ
る_ニ所_ニは_ニ止_ニ宿_ニ一_ニと_ニ其_ニ響_ニ志_ニと_ニ受_ニけ_ニ漫_ニり_ニふ_ニ金_ニ穀_ニと_ニ費_ニさ_ニし_ニむ_ニ
又_ニ第_ニ二_ニは_ニぬ_ニる_ニ弘_ニ法_ニの_ニ像_ニと_ニ禮_ニ拜_ニし_ニ巡_ニ村_ニを_ニは_ニと_ニ八_ニ十_ニハ_ニヶ_ニ所_ニ
詣_ニと_ニ唱_ニへ_ニ奇_ニ怪_ニの_ニ説_ニと_ニ云_ニひ_ニ觸_ニる_ニて_ニ病_ニ者_ニ々_ニ迷_ニへ_ニ一_ニ或_ニは_ニ
徹_ニ夜_ニ念_ニ仏_ニと_ニ唱_ニへ_ニ雜_ニ沓_ニの_ニ紛_ニれ_ニ奸_ニ淫_ニの_ニ媒_ニと_ニな_ニる_ニ者_ニあり_ニ第

三小念仏講といへる一獎あり民間死亡の事ある毎に
必だ一村の人を招ぎ鉦太鼓を打鳴りて男女老幼の
以死者を送り昼夜酒食の時移りて更に愁傷の氣色
ある是等最も孝子順孫の心を破りて忍びざるの惡
習あり此三ヶ条の如きは日新の開化は妨げたるを
少くも何卒速に嚴命ありて一切此類停止せしめ度
を待たり

○新瀉縣より報知

同縣下一月中盜難の達ひ一者三十九戸捕縛の賊十五
人又管内死者埋葬の者十申年中二万百八十七人あり

○府下富士見町往還に於て第一番中學生徒雪おろし
行人を妨げし一件は付御咎筋不伏の廉辨明致度とて
文部省十等出仕伊沢修二といへる者警保寮御理解し
承伏不致却て御國律に彼是誹謗致し不敬の咎書を出
さる咎とて違制律兵官吏公罪例に依り曉罪金十円罰
法省にて被仰付たり

○白露國全權公使令般日本政府と條約取結して來
港せり別は異しむあつたり右は本月七日同國の人民
支那貧民の船へ買入横濱港へ立寄り其節支那人の儀
は付我政府より大に御手数相掛り右の事件より今

度條約取結相なるより

○府下浅草富坂町吉藏店輕業師松井芳五郎其同人家族其外同業の者都合十六人英國人ギン俱々去ル已年十月中横濱出帆香港より印度地方へ渡り輕業與行致し北日耳曼迄至りし昨五月中カラマふて前書英人并磯吉と申ふ此郵船へ先乗致と告むて旅宿と立出其行衛不相分芳五郎の最早歸國の手當も無之當惑の餘り同行の者申合せ業前を以て處々立廻り漸く便宜を得てロンドン府へ到着し寺島辨務使へ歎願るし百五ボンドと拝借し昨八月中帆前船に乗組今年二月

十五日横濱へ安着しより同縣廳へ申立より

○濱田縣ヨリ脱卒人暴行ノ儀ニ付大藏省へ御届概畧去二月廿八日當管下迦摩郡仁万村石川栄吉外三人脱卒致レ那賀郡松原浦ノ高小川綿助方へ押入刀三口ヲ強奪シ其傍抜刀ニテ邸内所々ヲ乱妨及ビ剩へ大森町尤官職影平恵助へ重傷ヲ為負逃去しニ付嚴重手配致し処右ノ内栄吉ハ町家へ逃込自刃致し得共未ダ死去不致政五郎外二人ハ召捕相成國松ハ行衛穿鑿中ニ御坐し云々

○柏崎縣管内昨暮より薄雪なりしが一月廿日頃より

追々降積り現今麗下平地三尺位山入村々ることも一倍増のヶ所もありとぞ

○令般人民輻輳の地後前御高外の除地公有地の類を公園と定められ府下浅草金龍山芝増上寺上野東叡山深川八幡社隅田川梅若社音羽護國寺内藤新宿熊野十三社飛鳥山寺を以て永く人民觀樂の地と爲し右修補の入費を始め後來永続の方法御取調へ相成より

○正誤第卅六号末陸中郡山より來書中「金一円」白米三斗位とる二戸郡北郡の價あり

報知新聞第四十三號 終

今般郵便報知新聞刊行の旨趣は遠く隔る國々外情を互にお通せしめ且府下小生ずる細大を實各地へ相知りしめんとす依るを修めざるは亦不爲なる中書りて貴報を暴徒に捕縛機械產物の新著の雜誌紙材を各陶器米穀茶葉其他の諸品製造耕作の爲害甚く震雷風水火の災難を暖氣候に違ひて少くも其を多かるを皆夫々に予記して聊文藝虛飾を加へて時々掲載して是を修めざるは亦不爲なる中書りて貴報を弘く小通し越へ給はん事候希と

一郵便報知新聞一冊價彩貨三錢毎月五号宛出板當時發兌より先廿冊を引受候向も一割引同四十冊分ハ一割半引

一ヶ年分刊請の向ハ二割引

右通割金宛金郵便報知新聞大坂支店宛に送付候へば是より可也

發兌人 小田金右衛門

